

※※2017年1月改訂(第3版)
 ※2015年11月改訂(第2版)

カルシウム剤

日本標準商品分類番号
873211

乳酸カルシウム水和物「ヨシダ」

日本薬局方

乳酸カルシウム水和物

Calcium Lactate Hydrate

承認番号	21900AMX01791000
薬価収載	2008年7月
販売開始	2008年7月
再評価結果	1986年12月

貯 法：気密容器、室温保存
 使用期限：ラベル等に記載

【禁忌(次の患者には投与しないこと)】
 1. 高カルシウム血症の患者〔症状を悪化させることがある。〕
 2. 腎結石のある患者〔症状を悪化させることがある。〕
 3. 重篤な腎不全のある患者〔カルシウム排泄低下により、高カルシウム血症があらわれるおそれがある。〕

【組成・性状】

1. 組 成
 本剤1g中、日局乳酸カルシウム水和物1gを含む。
2. 製剤の性状
 本剤は白色の粉末又は粒で、においはなく、味は僅かに酸味がある。
 本剤1gは水20mLに徐々に溶け、エタノール(95)に溶けにくく、ジエチルエーテルにほとんど溶けない。
 本剤は常温でやや風解し、120℃で無水物となる。

【効能・効果】

- 低カルシウム血症に起因する下記症候の改善
 テタニー
 下記代謝性骨疾患におけるカルシウム補給
 妊婦・産婦の骨軟化症
 発育期におけるカルシウム補給

【用法・用量】

乳酸カルシウム水和物として、通常成人1回1gを1日2～5回経口投与する。
 なお、年齢、症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

1. 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)
 (1) 活性化型ビタミンD製剤を服用している患者〔高カルシウム血症があらわれやすい。〕
 (2) 強心配糖体の投与を受けている患者〔強心配糖体の作用を増強するおそれがある。〕
 (3) 高カルシウム血症があらわれやすい病態の患者
2. 重要な基本的注意
 長期投与により血中及び尿中カルシウムが高値になることがあるので、長期投与する場合には定期的に血中又は尿中カルシウムを検査することが望ましい。また、高カルシウム血症があらわれた場合には投与を中止すること。
3. 相互作用
 併用注意(併用に注意すること)

薬 剤 名	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
テトラサイクリン系抗生物質	テトラサイクリン系抗生物質の吸収を阻害することがある。同時に服用させないこと。	テトラサイクリン系抗生物質は、カルシウムイオンと消化管で難溶性のキレートを形成し、吸収が阻害されることがある。

4. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

種類\頻度	頻 度 不 明
長期投与	高カルシウム血症、結石症
その他	便秘

5. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。

【薬物動態】

経口投与において投与量の約33%が消化管より吸収される。吸収は年齢と共に減少するが、体内でカルシウムが不足した時は上昇し、また、ビタミンDの活性代謝産物である1,25-dihydrocholecalciferolも吸収を増加させる。尿、胆汁、唾液、汗、唾液、ふん便、母乳など種々の経路より排泄され、この内尿中には毎日400mg前後が排泄される。

※【薬効薬理】

血清カルシウム値が低下したとき、カルシウム値を上昇させる。血漿中カルシウムイオンが欠乏すると神経系及び筋肉系の興奮性がたかまって疲労しやすくなり、横紋筋は痙攣を起こす。本剤の投与により、鎮静、痙攣軽減の作用を示す。カルシウムは無機栄養素としても重要で、歯や骨の主成分である。

【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：乳酸カルシウム水和物
 化学名：Monocalcium bis [(2RS)-2-hydroxypropanoate] pentahydrate
 分子式：C₆H₁₀CaO₆・5H₂O
 分子量：308.29

※【包装】

乳酸カルシウム水和物：500g
 乳酸カルシウム水和物(G)：500g、1g×1,050包、1g×4,200包、2g×2,100包

※【主要文献】

第十七改正日本薬局方解説書 C-3770 廣川書店(2016)

【文献請求先】

吉田製薬株式会社 学術部
 〒164-0011 東京都中野区中央5-1-10
 TEL 03-3381-2004
 FAX 03-3381-7728



製造販売元
吉田製薬株式会社
 埼玉県狭山市南入曽951